

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET451004	社会科指導法演習(Seminar in Teaching Method of Social Studies)					教科実践						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 平田 利文 E-mail hirata@oita-u.ac.jp 内線 7545						
授業の概要	社会科指導法特論などにおける学習成果を基礎として、今日学校において生じている諸課題のうち、特に社会科の指導に関する事項について、実際の事例を受講生自身が調べ、その改善方法について考察、提案することをねらいとする。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	公立学校や附属学校園における調査に基づき、今日学校で生じている社会科の指導に関する課題を理解することができる。											
目標2	社会科の指導に関する課題の改善方法について、具体的な提案をすることができる。											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	今日学校で生じている社会の課題について(前期の振り返り)											
2	学校における調査方法,計画の立て方											
3	調査の視点について(受講生による調査計画の発表)											
4	具体的な調査方法,計画について(受講生による調査計画の発表)											
5	学校における調査の中間報告(報告と議論)全国学力状況調査からみた社会科授業の改善											
6	学校における調査の中間報告(号国と議論)											
7	ニュース等で報道された社会科に関する課題に関する議論											
8	ニュース等で報道された社会科に関する課題に関する議論											
9	学校における調査の進展状況の報告(受講生による報告と議論)											
10	ニュース等で報道された社会科に関する課題に関する議論											
11	ニュース等で報道された社会科に関する課題に関する議論											
12	調査に基づいた課題の把握と改善方法に関する提案(発表,議論)											
13	長さに基づいた課題の把握と改善方法に関する提案(発表,議論)											
14	学校種別の課題について											
15	授業のまとめ											
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ラ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	毎回、各回の演習課題について討論し、課題解決するために検討考察する時間を設定する。				工 夫 そ の 他 の						
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 事後学修	課題解決のための資料、データを収集しておく。 収集した資料、データを整理分析する。										
教科書	小学校,中学校,高校の学習指導要領,文部科学省のウェブサイト。											
参考書	特に指定しない。その都度資料を配付。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題解決のための資料、データの収集分析	40%										
	課題解決のための具体的方法の提案	60%										
注意事項	課題についての改善方法との資料データを収集し、課題解決方法を時間がにおいても検討しておく。											
備考	なし											
リンク	URL											